

施策評価シート (平成30年度の振り返り、総括)

作成日 平成31年 04月 16日

施策 No.	7	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	文化課、スポーツ振興課、自然教育センター、科学教育センター		

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度見込
人口	人	81,511	80,929	80,698	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> 市民に学習機会を提供することにより、生涯にわたって学習テーマを持ち、学習してもらう。 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> 学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は、市民意向調査の集計結果とする。 生涯学習に関する講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課、図書館、文化課、スポーツ振興課、自然教育センター、科学教育センターで行った講座数の合計とする。 出前講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課での集計結果とする。(出前講座は、平成21年12月から開始された。) 図書館利用者数及び貸出冊数は、図書館、二宮図書館及び西分館図書室の集計結果とする。 								
成果指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度基本計画目標値
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%	25.6	27.0	25.2	30.1	29.1	27.4	29.0	35.0
生涯学習に関する市民講座数	講座	114	133	149	182	188	187	203	140
生涯学習に関する講座参加延べ人数	人	12,302	12,786	12,963	13,097	13,954	15,182	14,381	13,000
出前講座数(実施した講座数)	講座	158	129	141	158	155	174	173	150
出前講座の参加延べ人数	人	4,509	2,923	3,414	3,689	4,316	4,470	4,879	3,500
図書館利用者数(3施設)	人	237,135	227,071	228,855	233,814	232,473	233,018	241,856	240,000
図書館貸出冊数(3施設)	冊	261,421	253,202	261,491	282,900	276,258	281,585	287,152	280,000

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 市民は、生涯にわたり自主的・積極的に生涯学習に取り組む。 行政は、生涯学習に係る事業を総合的・効果的に推進するため、関係機関の相互連携と協力を図り、市民の自主学習の進展に努める。また、講座等を通じて生涯学習のきっかけをつくり、自主活動団体としての活動を支援していくために、学習機会や学習の場の提供と学習環境の整備を進める。 								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策成果の時系列比較（過去３年間の比較）

・市民意向調査では、学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は、平成２８年度が２９．１％、平成２９年度が２７．４％、平成３０年度が２９．０％で、前年度と比較すると１．６ポイント上昇した。

・生涯学習に関する市民講座数は、平成２８年度が１８８講座、平成２９年度が１８７講座、平成３０年度が２０３講座で、前年度と比較すると１６講座増加した。

・市民講座の参加延べ人数は、平成２８年度が１３，９５４人、平成２９年度が１５，１８２人、平成３０年度が１４，３８１人で、前年度と比較すると８０１人減少した。

・生涯学習のさらなる推進を図るために、「出前講座」を平成２１年１２月から開始した。実施した講座数は、平成２８年度が１５５回、平成２９年度が１７４回、平成３０年度が１７３回で、前年度とほぼ同じであった。

・出前講座の参加延べ人数は、平成２８年度が４，３１６人で、平成２９年度が４，４７０人、平成３０年度が４，８７９人で、前年度と比較すると４０９人増加した。

（２）近隣他市との比較

・県内各市の生涯学習に関する講座数や参加者数については、講座の実施機関や実施方法等が様々であるため単に比較することは難しい。本市の出前講座メニュー数は、１７４講座で他１３市の平均講座数より多くの講座数を設けて実施している。

（３）住民期待水準との比較

・今後のまちづくりに力を入れてほしい施策で「生涯学習の推進」の割合は、平成２８年度が６．４％、平成２９年度が４．１％、平成３０年度が３．０％で、１．１ポイント低下した。

30年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・生涯学習をさらに推進するために、生涯学習課、図書館、文化課、スポーツ振興課、自然教育センター、科学教育センターで合計203講座の市民講座を実施した。

・市民講座の参加者の状況は、平成28年度は、56講座4,793人、平成29年度は、54講座4,095人、平成30年度は、55講座3,055人であった。講座は、料理関係講座、子ども対象講座、親子対象講座、趣味的な講座を開催し、参加者の約8割が女性であった。

・出前講座は、メニュー内容の充実を図り、平成30年度は174講座とした。

・出前講座の利用者は、女性が75%を占めている。参加者の年代は、幼児から80代とさまざまである。家庭教育学級や女性学級で出前講座を利用する例が多いが、地域の女性団体が地元の公民館を会場として利用している。

・市民意向調査で、学習内容は「スポーツ・レクリエーション活動」が35.9%と最も多く、次いで「地域での交流活動」30.5%、「芸術・歴史・文化等の文化活動」が26.6%となっている。学習方法は、「団体・サークル活動」43.8%と「個人的な学習」38.1%が多く、「公共機関が開催する教室・行事等」は32.2%となっている。学習活動に取り組む動機は、「趣味や教養を深める」が51.7%、「健康・体力づくり」が39.3%、「仲間づくり」が28.0%となっている。

・真岡市立図書館においては、平成21年度から指定管理者制度を導入して開館時間の延長や祝日の開館、貸出冊数の無制限化などのサービス向上を行っている。平成30年度の利用者数175,189人で、貸出し冊数は、21万7,791冊であった。なお、特色ある取り組みとして、乳幼児から小学生までを対象とした「読み聞かせ事業」や外国人講師による「英語のおはなし会」と障がい者週間に女子高校生と障がいのある仲間が手を組んだイベントの開催、季節に合わせた特設展示コーナーを月替わりで設置し、今話題の新刊本や季節に関連した本の紹介などを行っている。読書活動の推進や団塊世代向け「大人の映写会」等の事業を実施した。また、二宮図書館は平成26年4月より指定管理者制度を導入し、利用者54,219人で、貸出し冊数は、5万9,465冊であった。なお、平成30年度の真岡西分館図書室の利用者数12,448人で、貸出し冊数は、9,896冊であった。

・真岡市公民館連絡協議会は、地域公民館（167館）において、地域住民の理解と参加による積極的な活動を図るため、花いっぱい運動、親善女性バレーボール大会、地域公民館芸能発表会、研修会などを開催している。また、各地区地域公民館連絡協議会においても、公民館まつりをはじめ、各種事業や研修会を開催している。

・真岡家庭教育オピニオンリーダー会は、健全な家庭教育の推進をとおして、子どもの健全な育成を目指し、親の子育てにかかわる学習活動（コアラちゃんクラブなど）を支援し活動している。

補足説明参照

生涯学習推進基本計画の後期計画、生涯学習館や二宮図書館指定管理制度について

30年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

・生涯学習のきっかけづくりとしての市民講座については、市民のニーズを把握しながら、より多くの講座を開設して参加者を増やしていく。

・市民講座の受講者には、講座終了後に定例使用団体（市公民館：63団体、西分館：42団体、山前分館：16団体、大内分館：12団体、中村分館：22団体、二宮分館：35団体、合計：190団体）として、自立して活動していく方向で、今後も指導を図っていく。

・出前講座のメニュー充実と各団体、事業所等への周知の強化を図っていく。また、生涯学習推進本部において、毎年、出前講座の実績を確認するとともに、新年度講座内容等を決定していく。

30年度の
評価結果

補足事項

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組みの総括の補足事項

- ・平成22年に策定した「真岡市生涯学習推進基本構想（平成22年～平成31年）・後期計画（平成27年～平成31年）」が平成31年度に最終年度になったため、新たに基本構想・基本計画を策定する。
- ・二宮文化会館は、平成26年4月から真岡市生涯学習館に名称を変更し、生涯学習の推進及び管理運営を図った。
- ・二宮分館図書室は、蔵書数が目標の6万冊に達したため、平成26年4月から真岡市立二宮図書館に名称を変更するとともに、真岡市立図書館と合わせて指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を図った。